



心をひとつにキャッチ・ロー
～円山川城崎漕艇場～

愛西市 **議会だより**

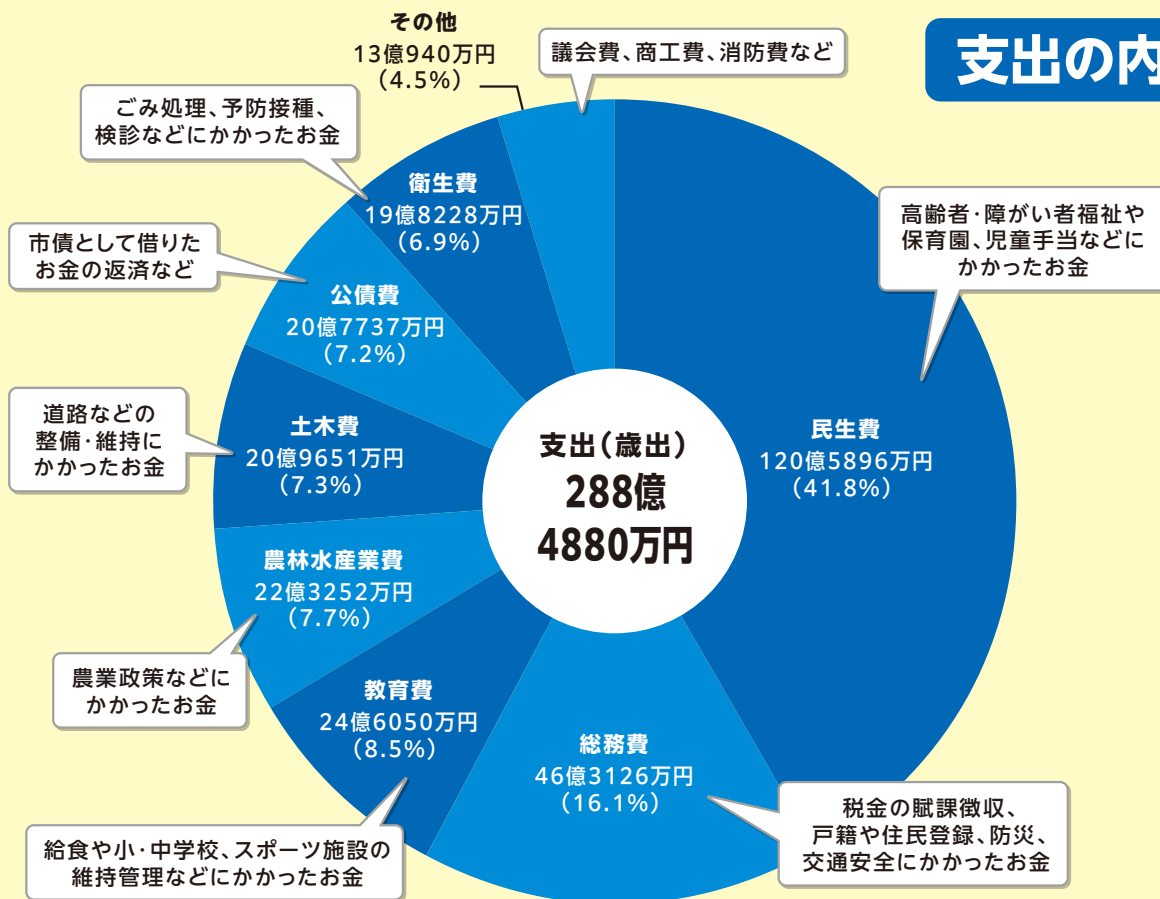
AISAI CITY
ASSEMBLY

No.82
2025.11.1

9
月
定
例
会

特集	令和6年度決算	2
	議論の中から新発見.....	4
	一般質問～市政を問う～.....	6
	イキイキコーナー	
	第25回 佐屋墨彩会	20
	議場を見学してみた（市江小学校3年生）	21
	議場コンサートを開催します	22

支出の内訳



婚活イベントが開催されました



▲婚活イベント「蔵の縁結び」

Q 業務委託料、参加人数、イベントの内容は。
A 委託料は、81万6千円、男女各10人の計20人の参加があった。
山忠本家酒造を会場として、地元の特産品を使用した料理とお酒を囲み、2時間楽しんでもらった。
本市の魅力を高め、地域経済の活性化や独身者への出会いの機会の創出、本市の知名度向上の効果が得られた。

市民活動支援公募事業の補助金交付団体が減少

Q 3年間の補助金支援後、自立が困難な団体への支援内容と応募減少への対策は。
A ほかの補助制度の案内をしていく。応募減少の対策は、広報、ホームページでのお知らせに加え、補助団体の活動紹介をし、市民活動を身近に感じる周知に努める。

Q 6団体から4団体に減っている。新たな申請の相談はなかったのか。
A 2件あった。補助金制度上、申請書・実績報告書作成、審査会でのプレゼン、将来的な自立促進等という点で、申請に至らなかった。

福原水防センターの建設が進んでいます



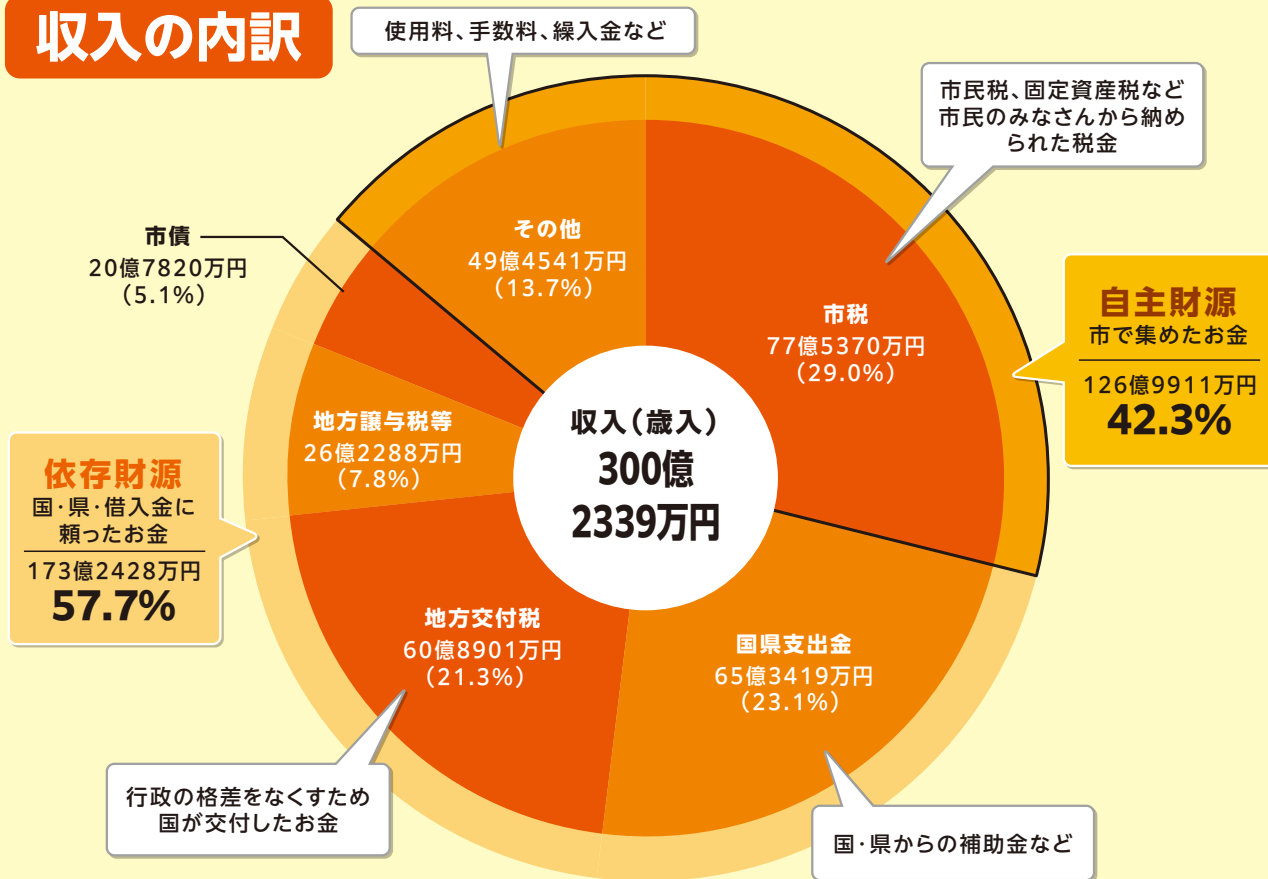
▲計画されている福原水防センター（予定図）

Q 令和6年度予算の執行率が低い理由は。
A 国のスケジュール変更に伴い、市の設計内容を変更したためだ。

Q 施設整備の内容は。
A 国が整備する「福原地区河川防災ステーション」の一部に、市の水防センターを建設する。

Q 完成予定は。
A 10年度完成予定。

収入の内訳



高齢者福祉タクシー料金助成事業

Q 執行率が低くなっている理由は。

A 利用範囲の制限をなくしたことにより、利用率の増加を見込んでいたが、見込みほどの利用がなかった。チケット総利用枚数は9%ほど増加をしている。



▲タクシーチケット

重層的支援体制整備事業

Q 関わってきた事例の件数と解決した件数は。

A 全体の相談件数は50件。解決した件数は、こちらが自立したと判断したものが2件。

Q 担当者会議と支援会議の内容、2つの会議の関係は。会議の参加者は。

A 2つの会議の関係は、まず担当者会議は、ケースを持ち寄り、情報共有や支援方法の検討を行なう。支援会議は、担当者会議で検討されたケースで専門的、重層的な支援が必要なケースについて、支援の方向性を決める。

権利擁護支援センター

Q 相談件数と擁護センターができたことによる成果は。

A 相談の人数は、234人。延べ430件の相談があった。そして、実際に市長申立てが5件、親族申立てが10件、社会福祉協議会が行う日常生活自立支援事業が9件と、それぞれ周知が進み、制度を進める事ができたと認識している。

※重層的支援とは

子ども・高齢者・障がい者・生活困窮者等に支援が分かれており、複数



▲愛西市権利擁護支援センター

議論の中から新発見

◆一般会計補正予算

公共施設照明LED化

公共施設の照明をLEDにするため賃借料を計上します。

4億8460万1千円

Q 債務負担行為で行う理由は。

A 受託候補者を決定、基本協定を締結後、現地調査を行い、賃貸借契約を今年度末頃に締結する予定だ。

令和8年度中に施工を行い、賃貸借を9年4月1日までに開始する。

賃借料は複数年にわたる支出を伴うため、平準化の観点から債務負担行為を設定した。

Q LED化による電気代の削減効果は。

A 10年間で約3億7千万円の削減効果を見込んでいる。

学校給食賄費の保護者負担を見直します

物価高騰の影響により、従来の給食費の範囲で学校給食を提供することが困難になり、令和7年11月から1人1食60円値上げを実施します。

2314万5千円

Q 値上げに至るまで、工夫した点は。

A パンは、種類や規格を選択し、ご飯の回数を減らす。デザートや高価な食材を減らし、さらに1品減らしている。魚の切り身は小・中学校で同一にしているなど、経費節減をしていた。

Q 保護者からどのような意見が出たのか。

A 7月22日に開催した学校給食運営委員会出席したPTA代表からは、肯定的な意見を聞いている。

文化会館の修繕工事をを行います

文化会館舞台照明卓の改修を行います。

文化会館修繕費

2631万2千円

文化会館修繕工事管理委託料

1155万1千円

Q 工事内容は。

A 舞台昇降装置の交換及びそれに伴う附帯工事。

Q 工事費の内訳は。

A 機器費約1528万



▲文化会館ホール

円、工事費及び廃材処分費約330万円、共通仮設費約43万円、現場管理費約189万円、一般管理費約303万円。

Q 工事期間は。

A 機器製造に約4カ月、現場作業に約1週間を見込んでいる。

◆その他の議案

手数料条例の一部を改正します

印鑑登録証明の交付等に関わる手数料の金額を改定し200円から300円にします。コンビニ交付手数料は据え置き。

Q 窓口交付とコンビニ交付の実績は。

A 令和6年度の実績は、印鑑登録証明書は、窓口申請件数1万3122件、コンビニ交付2665件。住民票の写しは、窓口

申請件数1万9261件、コンビニ交付3325件。

Q 増額の見込みは。

A 利用者数が同等の場合、約440万円増額の見込みだ。

Q 改正の理由は。

A 人件費および消耗品や通信費などの物件費高騰のため。

Q 混雑する窓口業務を分散するためには。

A コンビニ交付を推進することや、立田・八開支所の利用についても市民に周知する。



▲コンビニ交付周知チラシ

討論

令和6年度一般会計決算

賛成

市税収入は市財政の根幹となる財源

財政状況や予算の適正な執行及びその成果等を確認した。市税においては前年度決算額と比較し、1.7%減収。市税の内訳として、市民税では、法人分が増収となった。個人市民税は減収、今後も人口減少の影響が見込まれる。人口減少の影響が受けにくい固定資産税は横ばい、軽自動車税は4%増、市たばこ税は1.7%減となった。支出が法令などで義務づけられている義務的経費が、歳出の約2分の1を占める構成比が続いている。近年の急速な物価高騰や人件費上昇を受け、経常的な支出削減に努めていただきたい。市民へのわかりやすい決算状況、財政状況の周知を願う。

反対

社会通念から逸脱した決算の手續きは問題だ

会計管理者が病欠不在のため使用できない「会計管理者公印」を使ったり、市長が知らないところで多額の債券を買ったり、道の駅周辺整備では、契約変更や物品購入が事後に議会へ上程された。内部統制を正すためにも、決算の再調整・再提出が必要だ。債券含み損の問題でも、既に1億円の損失がでている。1債券ずつの購入・売却額を公開すべきではないか。学校の老朽化への対策も遅れている。学校整備基金を設置し、早期対策を求める。移動手段においては、県下の市で唯一地域公共交通会議が設置されていない。早期に設置し、市民の移動手段を確保すべきだ。

令和7年9月定例会議案審議の結果と議員の賛否

●：賛成
●：反対

会 派		新生クラブ					拓く愛西の未来					公明党 あいさい		日本共産党 愛西市議団		無会派	無会派	無会派
9 月 定 例 会 議 案	審議結果	佐藤信男	原裕司	山岡幹雄	杉村義仁	近藤武	角田龍仁	石崎誠子	鬼頭勝治	中村文武	佐藤旭浩	竹村仁司	高松幸雄	河合克平	真野和久	吉川三津子	馬淵紀明	永田千佳
愛西市手数料条例の一部改正について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
令和7年度愛西市一般会計補正予算（第4号）	可	○	○	○	○	議	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○
令和7年度愛西市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
令和7年度愛西市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
令和7年度愛西市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
令和7年度愛西市一般会計補正予算（第5号）	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
令和6年度愛西市一般会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○
令和6年度愛西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
令和6年度愛西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
令和6年度愛西市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
令和6年度愛西市水道事業会計決算の認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
令和6年度愛西市下水道事業会計決算の認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○

※審議結果の「可」は可決、「認」は認定です。その他の議案は全員賛成。「議」は議長のため、採決に加わっておりません。

議会事務局長へ
お詫び

9月議会での令和6年度決算認定に対して「会計管理者の代理の件について」吉川三津子、角田龍仁、河合克平、真野和久議員の4名から市へ申入書の提出がされました。

申入書の一部に「議会事務局長が全国市議会議長会に確認したところ今のままでは決算特別委員会では決を取ることはできません」と記載しました。

この表現は全国市議会議長会から「採決できない」との直接的な断定を受けたかのような、誤解を招く不適切な表現でした。

議会事務局長へ迷惑をかけ、誤解を生じさせたことに対して、4名から謝罪をしました。

市政を問う

13議員が一般質問

一般質問とは・・・

議員が市の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問することをいいます。持ち時間は、議員1人あたり45分です。

●定例会第2日目および第3日目に、13人の議員が一般質問しました。発言順に掲載します。

9月4日

中村 文武 議員 (P7)

- ◆空調設置 教育長の心意気と想いは
- ◆仮設警察署跡に公園を 水路暗渠化は

佐藤 信男 議員 (P8)

- ◆佐屋中・佐屋小の老朽化対策は新築か
- ◆開庁時間の変更は

山岡 幹雄 議員 (P9)

- ◆排水機運営費を農地に賦課 市の認識は
- ◆藤浪駅付近の市街化整備は

佐藤 旭浩 議員 (P10)

- ◆来年度以降 給食費負担は現状維持を求む
- ◆部活動地域展開に向け市の考えは

高松 幸雄 議員 (P11)

- ◆愛西市文化会館女性用トイレの改修を
- ◆軟骨伝導イヤホン導入をすべきでは

真野 和久 議員 (P12)

- ◆公共施設廃止で市民の利便性悪くなるが
- ◆AEDを24時間使用可能に

河合 克平 議員 (P13)

- ◆債券運用 含み損26億円の現状は
- ◆早急に小学校体育館に空調設置を

9月5日

吉川 三津子 議員 (P14)

- ◆全校児童数45人 学校運営の方針は
- ◆議会採択「若者らの請願」その後は

馬淵 紀明 議員 (P15)

- ◆小学校体育館への空調設備設置は

石崎 誠子 議員 (P16)

- ◆放置自転車の状況に差が出ている要因は
- ◆セールアンドリースバックの検討は

角田 龍仁 議員 (P17)

- ◆基金運用の透明性を

永田 千佳 議員 (P18)

- ◆コミュニティ・スクール 導入はいつか
- ◆永和駅放置自転車対策について

竹村 仁司 議員 (P19)

- ◆農地利用の集積・集約化は



空調設置 教育長の心意気と想いは

中村 文武議員

子ども達の想いを酌み段階的に進めたい
教育長

問 小学校体育館にエアコン設置の考えは。

答 中学校の空調効果測定中であり、現時点では整備する考えはない。

問 国に要望し、補正予算対応でも相談に乗ること。レンタル設置はできないか。

答 1校当たり年間約700万円の見込額のほか、200ボルトの電源工事も必要となることから、レンタル導入は考えてない。

問 優先順位を決めて予算計上することだが、優先順位が低いと認定していると思わざるを得ない。令和8年度予算に計上する予定はないか。

答 小・中学校の老朽化対策や規模等適正化を重点事業として取り組むことを考えており、8年度当初予算に計上する予定はない。

問 教育長に聞く。これは、子ども達のための判断か。

答 整備した4つの中学校体育館の空調設備を検証しながら、設置の参考にする。文科省が薦める断熱性能を確保した上での空調設置についても、コストと効率を十分考慮し、研究を進める。

問 エアコンの設置は教育長しか判断できない。研究を進めるだけで本当にいいのか。もう一度最後に教育長の心意気、そして想いは。

答 地域の方、市民の方ひいては子ども達の想いを酌み取り、今後段階的に進めていきたい。そういう道筋を通ればと思う。

仮設警察署跡に公園を
水路の暗渠化は

問 ボールが使える公園は佐屋に4つのみだ。仮設警察署跡（佐織支所東側駐車場）を公園にできないか。

答 仮設警察署跡利用は、出来る限り有効な利活用

に向けて協議していく。

問 西側水路の暗渠化は。
答 用水路をパイプライン化する予定があると聞いているが、施工方法、上部利用の詳細は未決定だ。整備内容について適切な時期に関係機関と調整できるよう、引き続き情報収集する。



▲佐織支所横の広いスペース

佐屋中・佐屋小の 老朽化対策は新築か

佐藤 信男議員

全体ビジョンを決定し教育委員会で判断
教育部長



問 学校施設の老朽化に対する提言はどんな内容か。

答 構造躯体の専門的な劣化状況調査を行い、その結果に基づいて老朽化対策事業を実施。校舎を健全な状態で長く使用し、市全体の中長期コストを抑えるために、外壁や屋上等の定期的な予防改修事業を実施する。

性や耐力性の調査結果を踏まえて手法を検討する。

問 佐屋中学校の調査状況は。

答 平成30年度に佐屋中学校健全度調査を実施。耐力度調査及び基本調査は実施していないので、計画している。

定に取り組んでいる。基本構想は、改築もしくは大規模改修で老朽化対策の全体ビジョンを決定する。

問 佐屋小学校の調査の進捗状況は。

答 健全度調査と耐力度調査を合わせた佐屋小学校施設健全度調査業務を令和5年から6年に実施。基本調査は、老朽化対策基本計画等策定業務の中で実施する。

問 開庁時間変更の本来の目的は。

答 令和7年12月1日から窓口受付時間を、午前9時から午後4時までに変更する。

開庁時間の変更は

問 本市の開庁時間のその後の検討状況は。

答 受付した書類の処理や収納金の確認等、閉庁後に行う業務を勤務時間内に行い、職員全体の早期退庁を推進し、ワーク・ライフ・バランスの推進、働き方改革につなげたい。創出した時間を活用し、情報共有や業務、政策課題の解決に努める。

問 佐屋中学校の施設整備の内容は。

答 学校施設に係る健全

問 佐屋小学校の施設整備は。

答 佐屋小学校老朽化対策基本計画等策定業務で、基本構想、基本計画の策

問 佐屋中学校、佐屋小学校の校舎の老朽化対策は、学校規模や将来的なことを総合的に勘案すれば、改築、つまり新築が適切であると判断するが、考えは。

答 基本構想で、改築もしくは大規模改修による老朽化対策の全体ビジョンを決定。準備委員会の協議結果等を踏まえ、教育委員会として判断する。



▲校舎新築早期着工が望まれる佐屋小学校



排水機運営費を農地に賦課 市の認識は

山岡 幹雄 議員

非農用地は市が負担、市民に向け啓発

産業建設部長



▲津島市の藤浪駅前市街化区域計画図

問 雑種地、農地は排水機場ポンプで排水する。土地改良区は農地に賦課金が課せられ負担が多過ぎ、宅地、雑種地には賦課金が課せられていない状況を市は認識しているか。

答 ほぼ全域が海拔ゼロメートル地帯である本市は雨水の自然排水が困難である。農業の生産性及び収益の向上を目的に、

早くから整備された農業用の排水路や排水機場により、平常時、洪水時とも土地改良区が管理している。その後、混住化の進展とともに宅地や雑種地など非農用地が増加する一方、施設の維持管理費については受益農家の賦課金で賄われているのが現状であった。

このため、土地改良区と関係市町村で協議会を

設立し、非農用地に係る維持管理費を関係市町村で負担をしている。

今後は土地改良区への支援と、市民に向けて、農用地の排水路や排水機場が地域全体に果たす役割について啓発をする。

藤浪駅付近の市街化整備は

問 津島市が名鉄藤浪駅南側35ヘクタールを市街化区域に編入する調査を始めた。本市の計画の現状は。

答 市内鉄道駅8駅周辺の評価分析を実施。この評価分析結果を踏まえ、優先的に市街地整備に勝幡駅、藤浪駅、佐屋駅、富吉駅周辺を設定し、現在まちづくりビジョンの策定に向け、関係総代との意見交換会を開催している。

問 津島市が市街化編入を議会の承認を得て本市も含める新聞報道があった。

市街化区域編入について津島市が開始したことにより、市はどのようにしていくのか。

答 本市の進める4駅周辺の市街地整備事業における藤浪駅周辺整備と、津島市が進める藤浪駅南側の市街地整備事業の事業スケジュールが一致した場合には、相互に連携した事業展開が可能であると考えている。

その他の質問

- 異常気象について
- 総代制度について

来年度以降 給食費負担は 現状維持を求む

佐藤 旭浩議員

保護者負担が過度にならぬよう配慮する
教育長



問 学校給食で考えられる課題は。

答 食材の高騰により、これまでの水準の献立を提供するのが困難で、質の低下につながる。主食・副食の残渣、牛乳の破棄量が増加傾向にある。

問 給食残渣量と牛乳の破棄量は。

答 残渣量は令和4年度1万9870kg、5年度1万9715kg、6年度2万0972kg。
牛乳破棄量は4年12

45kg、5年1605kg、6年1943kgだ。

問 食材費について市の考えは。

答 給食運営委員会で内容の充実を図るため給食費の値上げを協議し、11月から1食あたり単価を小・中学校ともに60円値上げる。小学校は保護者負担320円、市負担30円の350円、中学校は保護者負担60円、市の負担330円の390円とする案を9月議会で提

案している。

問 給食運営委員会での協議内容は。

答 栄養教諭から、デザートや高い食費を削っても予算の都合上1品削ったりして分量を調節しているなどの説明があり、PTA代表からは、給食が足りないと言って帰ってくることや、食材費の値上げについては肯定的な意見をもらった。

問 月に一度、牛乳に代

わるお茶などの和食におけるカルシウム摂取は検討しないのか。

答 全国的にも試験的に牛乳を中止した自治体もあることから取り組み状況と検証結果を調査する。

問 来年度以降の給食費負担は現状維持を求めるが、教育長の考えは。

答 今後も、保護者負担が過度にならないように配慮しつつ、学校運営の

工夫を進め、地域や家庭と連携した教育を目指す。

部活動地域展開に向け市の考えは

問 部活動地域展開の取り組み状況は。

答 今年度から部活動コーディネーターを配置し、学校と部活動指導員との連絡調整、地域との連携支援をしている。

問 部活動地域展開の推進に向けて教育長の考えは。

答 学校と地域指導員で役割を分担することで部活動を支えつつ、教員が教育活動に専念できる体制を作っていく。



▲児童・生徒が食べている学校給食



愛西市文化会館 女性用トイレの改修を

高松 幸雄 議員

施設の大規模修繕などで検討していく
教育部長



▲ネーミングライツを導入している垣見鉄工アリーナ

問 本市では令和6年4月より、親水公園総合体育館で垣見鉄工株式会社とネーミングライツを契約締結したが取り組み状況は。

答 公共施設に関する愛称の命名権を与えるネーミングライツは、これまで対象施設を特定して募集する公募型ネーミングライツだったが、7年7月より新たに施設を選択する提案型ネーミングライツの募集を開始した。

問 本市における提案型のネーミングライツの対象となる施設は。

答 佐織総合運動場、文化会館、二子ふれあい公園、消防団詰所などが対象となる。

問 「愛西市文化会館の女性用トイレは和式が多く使いづらい」との声が寄せられている。文化会館の女性用トイレの洋式和式の設置数は。

答 ホールには和式6基、

洋式3基がある。

問 ネーミングライツを活用し文化会館のトイレ改修費用に使うことはできるか。

答 可能であると考えている。

問 誰もが使いやすいトイレの環境整備は急務だと考えているが、本市としての見解は。

答 文化会館は開設後約40年が経過し、施設の大規模修繕などで検討していく。

軟骨伝導イヤホン
導入をすべきでは

問 軟骨伝導イヤホンは

軟骨を伝わって音を聞くことができるイヤホンのことで、音漏れも少なく聞き取れることができる。耳穴を塞がずに音声を伝える軟骨伝導イヤホンは

衛生的であるために近年では既に複数の自治体で導入が進んでいるが近隣の市町村の導入の状況と必要な初期費用は。

答 愛知県内では12市町の導入を確認している。近隣市町では弥富市が1台、あま市が10台、津島市が2台設置している。価格は4万円ほどである。

問 窓口業務において本市でも軟骨伝導イヤホンの導入を検討すべきではないか。市長の見解は。

答 県下でも導入が進んでいる。近隣では導入の経緯や財源等もまちまちであるので、どういった形で導入するのが一番望ましいのか判断しながら検討していく。

公共施設廃止で 市民の利便性悪くなるが

真野 和久議員

他施設の活用など説明し理解してもらう
総務部長



■廃止が具体化する主な公共施設

□庁舎関係

八開庁舎

□コミュニティセンター関係

市江地区コミュニティセンター

西保地区防災コミュニティセンター

立田北部地区防災コミュニティセンター

立田南部地区防災コミュニティセンター

藤浪地域防災コミュニティセンター

勝幡地域防災コミュニティセンター

町方地域防災コミュニティセンター

草平地域防災コミュニティセンター

川淵地域防災コミュニティセンター

□福祉施設関係

八開総合福祉センター

佐屋老人憩いの家

藤浪老人憩いの家

□体育施設関係

佐織体育館

立田体育館

八開総合運動場

※「愛西市公共施設等個別施設計画」から抜粋

▲廃止予定の公共施設

問 コミュニティセン

ーなどを廃止するロードマップを庁内で検討している。この動きは、市民の活動や生活に大きな影響が出る。廃止の理由は、**答** 残存耐用年数を指標とする建物性能と、施設で異なるが、面積、1日当たりの利用者数や稼働率などを指標とする利用状況などを参考に整理した。

問 ロードマップの具体的な内容は。策定の時期、

施設の廃止時期は。
答 愛西市公共施設等マネジメント推進会議とその作業部会で、施設ごとの具体的なスケジュールを検討する予定だ。施設ごとに状況が異なるので、スケジュールも異なる。
問 計画で廃止の方針とされている施設は、市民の利便性や利用がなくなる。どう考えているのか。対策は。
答 地元管理や他施設の利用への移行を進めるな

どの方向性を定めた。

他施設の活用をお願いするなど説明に努め、理解してもらう必要がある。

問 議論の中で廃止の見直しの可能性はあるか。

答 方向性の見直しはないものと考えている。

AEDを24時間使用可能に

問 AED(自動体外式除細動器)は、心室細動(心臓がけいれんを起こして血液を送れなくなつた状態)を起こした人に電気ショックを与えて心臓のリズムを正常な状態に戻す機器だ。電源を入れると音声で操作方法を指示してくれるので、専門的な知識がない一般の市民でも使える。救急車が到着するまでに、市民による救急救命活動が行え、生存率もアップする。

本市の公共施設等のAEDの設置状況は。

答 市内69カ所の公共施設、10カ所の市立の保育園、幼稚園に設置している。

問 公共施設で24時間利用可能な施設は。

答 愛西市役所、消防本部消防署、消防署分署の3カ所。

問 コンビニエンスストアと協力をしていくことを検討してはどうか。

答 いつでもAEDが使用可能な状況になるメリットはあるが、現時点では、コンビニエンスストアへのAED設置については、県からの包括的な協力支援もないため考えていない。



債券運用 含み損26億円の現状は

河合 克平議員

額面126億円、含み損は35億円

会計室室長補佐

残期間含み損状況		令和7年7月末	令和7年1月末
全期間 合計	額面残高	126億円	129億円
	損失	35億円	26億円
満期まで 5年末満	額面残高	4億円	6億円
	損失	81万円	180万円
満期まで 5-9年	額面残高	8億円	6億円
	損失	4500万円	3000万円
満期まで 10-19年	額面残高	42億円	45億円
	損失	7億2100万円	5億6000万円
満期まで 20-29年	額面残高	59億円	59億円
	損失	21億2000万円	16億円
満期まで 30-39年	額面残高	13億円	13億円
	損失	6億円	4億4000万円

▲残期間別額面残高と含み損

問 証券会社ごとの金額

問 債券運用の1月の含み損は26億円だった。6カ月間経過して、7月末の基金の含み損の金額と基金の残高、内訳は。

答 合計は、債券が75本、額面126億円、含み損は約35億円。

令和7年7月末時点の基金総額は約171億円で、内訳は債券約125億円、普通預金約27億円、定期預金約19億円。

問 市長に報告なく運用されたという内部統制の問題についての考えは。

答 組織の統制・規律・情報共有として、債券の購入や売却等は、地方自治

は。

答 野村證券25億円、S M B C日興証券38億円、大和証券8億円、みずほ証券15億円、岡三証券26億円、東海東京証券9億円、三菱UFJモルガン・スタンレー証券5億円。

問 空調設備を小学校体育館へ早期に設置する考えは。

早急に小学校体育館に空調設置を

法に基づき財産を管理するとの認識の下、副市長の専決事項として決裁を行うが、重要度が高い事項として市長に報告している。

答 小学校体育館のエアコンの整備は計画してない。今後、整備していく上において、計画を立てる際には一体的か、優先順位を設けるのかについて、教育委員会で協議し、進めていく。



永和中体育館の雨漏



夏の佐屋中体育館の気温

▲中学校体育館の状況

全校児童数45人 学校運営の方針は

吉川 三津子議員

複数学年の授業や多校での行事を検討
教育部長



学年⇒ 現在の年齢⇒ 入学年度⇒	6年生 R8	5年生 R9	4年生 R10	3年生 R11	2年生 R12	1年生 R13	6年後の全校児童数↓
永和小	58	37	55	52	27	36	74
市江小	30	30	22	31	29	17	84
佐屋小	92	79	90	83	75	75	68
佐屋西小	37	28	26	26	27	16	45
立田南部	13	11	16	12	11	11	
立田北部	22	8	15	15	10	14	
八輪小	16	12	15	10	7	8	
開治小	12	4	10	4	8	7	
北河田小	40	31	50	32	31	19	
勝幡小	38	31	39	39	31	21	
草平小	30	37	35	38	24	30	
西川端小	48	37	43	31	30	13	

▲6年後の小学校別学年別児童数予測

問 左図は、6年後の各小学校別児童数で、黄色は10人未満の学年だ。開治小学校は、全校児童45人になる見込みだ。

針は。
答 八開地区の小学校では、県の制度が変わり、令和15年までは、単式学級が維持でき、複式学級にならない見込みだ。

少人数学級への対応として、体育・音楽・図工・生活などの教科は、複

数学年での合同授業やICT活用とし、学校行事は、多校で合同実施も検討する。

問 この先10年間に、駅周辺整備や公共施設見直しの計画がある。債券含み損の影響も厳しい。

佐屋小の改修、中学校統廃合、その後に立田地区の小学校統廃合の予定だが、築70年以上になっ

いるのか。

答 各施策の進捗に影響するようないことが起きた場合、必要に応じて、各施策を見直す。

問 市部局の工事が優先され、学校教育の施設整備が遅れてはならない。

学校整備に特化した基金を設置する考えは。
答 教育施策のための準備基金について、検討をはじめている。

議会採択「若者らの請願」その後は

問 3月議会で、全会一致で、防災に関する請願が採択された。地域に高い建物がない、逃げられない高齢者が多いので、地区の防災計画を作って欲しいと要望する内容だ。市にとって、計画の重要性の考えは。

答 現在、市が様々な投

げかけをする段階であり、地域が主体となって計画を作り、その計画が実施されるよう、計画策定の支援を行っていく。

問 計画づくりにおいて、市民は未経験だ。それを補う支援が必要では。

答 危機管理課で、助言も含め、地域の課題や特性も考えていく。

問 専門家による学習の予定は。

答 議論の中で決めていく。市も専門家の話を聞き、どのような進め方をすればよいか考えていく。

問 市と市民が共に学び作り上げるといふことが

答 そうした機会を増やし、職員の知識も向上させたい。



小学校体育館への 空調設備設置は

馬淵 紀明議員

国の動向を注視していく

教育部長



▲佐織西中学校に整備した空調設備

問 校舎とともに老朽化していく学校の体育館。雨漏りがあり困っている。と市民から聞いているが、雨漏りしている体育館の数は。

答 小学校は、立田南部小学校を除く11校。中学校は、八開中学校を除く5校で報告を受けている。

問 保護者等からは、卒業式を含む学校行事が心配と多く聞いている。

学校行事等は、市の公共施設を使用することはできるのか。

答 雨漏りに加え、天井の壁の剥落や床板の剥離など、適切な使用に支障が生じる場合には、垣見鉄工アリーナをはじめとする学校・文化・スポーツ施設の使用について、学校と連携、協議していく。

問 小学校の体育館にはいつ空調を整備するのか、災害時は大丈夫なのか

ど、意見を聞いている。

小学校体育館の空調設備整備計画は。また、学校体育館は指定避難所に指定してある。空調設備設置が必要ではないか。

答 小学校に係る整備計画は作成していない。また、避難所としての機能のみをもって検討することも考えていない。

問 空調設備がない体育館に避難所を開設することができなのか。

答 災害の時期や状況、避難者数の状況に応じて、空調設備がない小学校体育館を避難所として開設する必要がある。指定避難所となる学校施設は、平時は教育委員会と連携を図り、指定避難所の熱中症対策に努めていきたいと考えている。

ている。整備計画はないという答弁だったが。ぜひ、計画的に整備して欲しいが。

答 現時点においては、永和中学校体育館をはじめ、佐屋小学校、その他の小・中学校施設の老朽化対策や小中学校規模等適正化を重点事業として取り組むことを考えている。

なお、令和7年8月7日に総理大臣官邸で熱中症対策推進会議が開催され、今後、各省庁において空調設備に係る支援の充実が期待されるので、その動向を注視していく。

その他の質問

●令和6年度の決算状況は

問 小学校体育館への空調整備は、学校施設としての機能はもちろん、避難所としての機能を有し

放置自転車の状況に 差が出ている要因は

石崎 誠子議員

永和駅は駐輪場から駅までの距離がある
企画政策部長



▲ “永和駅” 駐輪場以外の通路等に置かれた自転車や原付

問 永和駅には、西側、東側にそれぞれ駐輪場がある。いずれの駐輪場も改札口から距離があり、放置自転車や原付が目立つ。市内にある8駅のうち、永和駅のように放置自転車が目立つ駅は他にもあるのか。また、他の駅と比べて、放置自転車の状況に差が出ている要因は。

答 永和駅以外で放置自転車が目立つ駅はない。駐輪場以外の場所へ駐輪

が目立つ原因として、永和駅から駐輪場までの距離があること、通路幅があり自転車を停めても歩行者が通ることが可能であること、駅利用者が多いことなども要因ではないかと考えている。

問 市は、当面の安全対策として、駐輪を禁止する対策を優先するのか、あるいは、中長期的な視点で、ロータリー整備等も含めた駐輪場の再配

置など、抜本的な改善を検討していくのか。また、近隣市とも協議し対策を進める考えはあるのか。

答 駐輪場以外のスペースに自転車を停めることのないよう、看板の設置や駐輪の防止策の検討を進め、安全対策に努める。放置駐輪される利用者へ、適切な駐輪をしてもらうよう、啓発と他自治体の対策を研究していく。

セールアンドリースバックの検討は

問 基金総額171億円のうち125億円が債券

そのうち、今後10年間で15億円が現金化できる。近年は基金の取り崩しを前提とした予算編成が続いているが、このような状況の中、次年度以降も基金を取り崩した予算編成は可能か。また、令和

8年度は、どの程度の予算の縮減が必要か。

答 今年度も、歳出に対する歳入不足分について、基金を取り崩して賄っており、6年度決算では、一般会計における基金総額は約13億6千万円の減となった。8年度は、基金の取り崩しに頼らない予算編成に向け、慎重に進めている。

問 今後ますます財政運営が非常に厳しい状況が続くことを踏まえて、まとまった額の運営資金の調達方法として、セールアンドリースバック方式の検討は。

答 即時の財源確保が可能となること、修繕費や維持管理費が不要になるという利点がある一方で、デメリットも伴うため、慎重な検討が必要である。



基金運用の透明性を

角田 龍仁議員

どの様に公開していくのか、検討段階だ
副市長

①地方財政の「見える化」

地方自治体が住民や議会等に対する説明責任をより適切に果たし、住民サービスや地方自治体のガバナンスの向上を図る観点から、財政状況資料集や財務書類の活用等により、引き続き、決算情報等の「見える化」を図る必要がある。また、国においても、地方自治体の理解を得ながら、効率的に、決算情報等の「見える化」を進めることが重要である。

地方公会計については、令和6年度に改訂予定の「統一的な基準」を踏まえつつ、毎年度、各地方自治体において、決算年度の翌年度までに財務書類等の作成・更新を行い、分かりやすく公表するとともに、経年・地方自治体間の比較や指標による分析等により、資産管理や予算編成等に活用されることが重要である。国においては、地方自治体における財政マネジメントが強化されるよう、引き続き、財務書類等から得られる情報を公共施設等の適正管理をはじめとする資産管理や予算編成等に活かした事例の収集・公表や、地方公会計に関する専門家の派遣等により、地方公会計の一層の活用を促すとともに、更なる地方公会計の整備・活用のための方策を検討すべきである。

地方自治体の基金は、年度間の財源調整や、特定の事業の複数年度にわたる安定的な執行等のために設けられており、様々な地域の実情を踏まえて、それぞれの判断に基づき管理が行われている。そのため、各地方自治体において、議会、住民等に対して説明責任をより適切に果たしていくことが重要であり、基金の考え方、増減の理由、今後の方針等について公表するなど、引き続き、こうした「見える化」の取組を進めていくべきである。

今後目指すべき地方財政の姿と令和7年度の地方財政への対応等について(概要)
地方財政課編纂【内部】
19

▲今後目指すべき地方財政の姿（総務省）

問 基金の運用の見える化に向けて、具体的な取り組み計画やスケジュールを示し、早期の実現を目指す考えは。

答 行政の透明性と説明責任の確保につながる重要なものと認識をしている。

問 債券をいくらで何を買ったか、いつ買ったか、期間が何年か、ということも含め基金の透明性を持つため、ホームページ

で公開する考えは。

答 どの様に公開していくのか、検討段階である。

問 含み損があるため、全ての債券を保有し満期以外の物は取り崩す予定はないか。

答 今年度から50%を目指しながら、順次やっていきたい。

問 令和7年度末、債券保有率が90%近く、かなり難しいと思うが秘策は

あるのか。

答 運用益が8千万円近くある。プラスになっていることも考えつつ、50%以下にしていきたい。

問 6年度に満期前の債券を一部売却し、1320万円ほど損失が出た。

透明性を持って報告する事が市民にとって重要では。

答 詳細についての公表をどこまで行うかというのは今後、庁舎内で検討し、実施をしていきたい。

てあげたいと思えば積み立てる。やらなければいけない大きなプロジェクトがある中でこの状態になったのは間違いないでは。

答 現在の基金は、合併前の基金が引き継がれており、町村によってかなり差があった。合併する前に事業計画が立てられ、着々と事業を進めていけば、完了していた事業もあるのではないかと考えている。

その他の質問

●人口減少問題

問 立田地域交流拠点施設整備基金は平成29年から道の駅を整備するために作った基金だが、これから行う佐屋駅周辺整備、学校統合、市街地整備に基金を積み立てる気はあるのか。

答 必要性があれば、当然設定する。

問 家を買う、車を買う、お子さんを大学へ行かせ

コミュニティ・スクール 導入はいつか

永田 千佳議員

調査・研究を進めていきたい

教育部長



▲コミュニティ・スクール構想

問 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）について、導入時期とスケジュールは。

答 コミュニティ・スクールを導入している自治体数が、令和5年が1347自治体、6年が1449自治体と増加傾向にあることを踏まえ、調査・研究を進めていく。

問 地域学校協働活動について、現状で行われている活動では、何が地域

学校協働活動として該当するのか。それらの活動を継続するに当たり、どのような問題点が考えられるか。

答 本の読み聞かせ活動や除草活動、登下校時の見守り活動など。土曜日の教育活動の充実をはかるあいさい土曜キラリ学習を実施し、小学生を対象として学習やスポーツ、体験活動などの機会を提供している。活動継続に係る課題については、

地域の人材の確保が課題。ボランティア団体の高齢化や固定化により後継者が増えない。土曜キラリ学習では、一部の教室において指導者の高齢化や、指導者の確保が困難なため教室の継続ができないという事例がある。

永和駅放置自転車対策は

問 駐輪の仕方を改善するための方策は。



▲永和駅放置自転車の更なる対策を

その他の質問

● 消防団員報酬のあり方は



農地利用の 集積・集約化は

竹村 仁司議員

中間管理機構等を積極的に活用

産業建設部長



▲愛西市の農地風景

問 促進計画において、

担い手への農地利用の集積・集約化は大切な取り組みと考える。市が策定した農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想に基づき、担い手への農地利用集積は80%を目標とする。農地利用の集積・集約化に向けた具体的な推進方法は、農業従事者の高齢化が進んでいる中、農業に従事できなくなり耕作が困難になった場合には、中間管理機構等を積極的

に活用してもらうことを発信することにより、農地の集約化の推進を図る。

問 農業に対する新規参入の促進について、目標、具体的な推進方法は、また、農用地利用集積等促進計画との位置づけ、水稲だけでなく田畑の集積

についての考えは。

答 新規就農者の目標としては、水田及び畑作合わせて、令和17年1月までに10人以上新規就農者を確保することを目標と

している。引き続き、市、県、農協、農業委員会が連携し、就農に関する情報提供や相談を行うことにより、新規就農を促進する。

問 市の基幹産業は農業だ。特にレンコン、フキ、ミツバなどの生産量は全国トップクラス。春大根やイチゴも上位にランクインしている。特に立田地区、八開地区を中心に広がるレンコン畑は、市の景観資源としても知ら

れている。農用地利用集積のメリットを生かし、どのような農用地利用を目指し、目標としていくのか。

答 農業特産品であるレンコンを衰退させないよう、水田は、水稻の担い手とレンコンの担い手が共存共栄を目指した農地集約により、分散圃場の解消を進めている。

畑作においては、それぞれの野菜の担い手の

作業効率等の向上のため、話し合いにより集積・集約化を行っていく。

問 市長の見解を問う。

答 農業を基幹産業とする愛西市は、しっかりと農業生産者、そして土地の所有者に対して敬意を払いながら、施策を進めていくことが大切である。市としても、様々な施策を展開しているが、昨今の国際状況や国内の状況を見ると、国も施策を転換するということも言われている。十分に注視をし、今後の農業施策も考えていかなければならない。

イキイキコーナー

佐屋 墨彩会

活動日時は 毎月第3水曜日午後1時～3時
活動場所は 愛西市文化会館2F美術教室
会員数は 7名
代表から一言

一色の濃淡で描くアートは奥が深くみなさんも
仲間に入って一緒にさまざまな対象を墨で表現
してみませんか？

入会した動機は？

- ・文化祭での作品の展示を観て
- ・応募ポスターを見て

活動して楽しいことは？

- ・図書館や文化祭などへの
作品展示
- ・練習終了後の
「おしゃべりティータイム」

入会して 良かったことは？

- ・草花、果物、鳥などを
描くことによりそれらに関する
知識が増えてきた。



全国市町村交流 レガッタ豊岡大会

令和7年9月27日
(土)、28日(日)に、兵庫
県豊岡市で第34回全国
市町村交流レガッタ大
会が開催されました。

愛西市からは、3チー
ム出艇し、無事に完走す
ることができました。



▲H²O



▲あいさいレディース



▲愛西市議会議員チーム

市江小議会見学

議場を見学してみた

7月4日、市江小学校の3年生が、議会見学に来ました。議場を使って、模擬議会を行いました。児童が議長を務め、議席から質問を行いました。



議会って
どういうところなの？



議場を使って、
議会の役割や
仕組みなどについて
説明を行いました。



議会は
何を決めるの？



愛西市議会
各委員会懇談会に
参加しませんか

多様な意見を聴取し、議会活動への理解を深めていただくための直接対話をする機会として、委員会と各種団体等との懇談会を開催します。

懇談対象については、個人ではなく、原則として事務局を有している地域振興会、産業経済団体、厚生社会事業団体、文化事業団体等の愛西市内の公共的団体とします。

開かれた議会運営を推進するためにも、皆様の大切な声をぜひお聞かせください。

参加を希望される団体は、令和7年11月30日までに議会事務局へご連絡ください。

問 議会事務局
☎(55)7120

市制施行 20 周年記念事業

♪ 議場コンサート開催 ♪



愛西市では、**市制施行20周年**を記念し、

令和8年1月6日(火)に「議場コンサート」を開催します。

このコンサートは、主権者教育の一環として、次世代を担う子どもたちが議会の場に触れ、市民と議会との交流を深めることを目的としており、普段は市政を議論する場である議場を特別に開放し、市民の皆さんに音楽を通じて議会を身近に感じていただきたいと思います。

市内園児・児童・生徒を対象に募集を行い、応募のあった中から最大3組が演奏いたします。



音楽で彩る記念のステージを皆さんも是非ご観覧ください！

開催概要

日 時 令和8年1月6日(火) 13:30~15:30

会 場 愛西市役所 本庁舎4階 議場 **主 催** 愛西市議会

お問い合わせ

愛西市議会事務局 (市制施行20周年記念事業議場コンサート実行委員会)

TEL:0567-55-7141

FAX:0567-26-7141

E-mail:gikai@city.aisai.lg.jp

令和7年12月定例会の開催予定

11月27日(木) 本会議(招集日)議案上程

12月 4日(木) 本会議(第2日)一般質問

12月 5日(金) 本会議(第3日)一般質問

12月10日(水) 本会議(第4日)議案質疑

12月12日(金) 総務文教委員会

12月15日(月) 建設福祉委員会

12月19日(金) 本会議(最終日)討論・表決

クローバーTV放映日時(チャンネル121)

12月15日(月)午前10時~・午後7時~

12月16日(火)午前10時~・午後7時~

- 本会議及び委員会は午前9時30分から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

清秋の候、みなさまにおかれましてはますますご清栄のことと存じます。この議会だよりが届くころには、市内各所で秋祭りが行われたことでしょう。

秋は私たちの主食である稲が実りを迎える時期。秋祭りには、収穫を祝い、五穀豊穡を感謝し、次の年の実りを祈る意味があります。秋の夜長に農と一体となった先人の生活に思いを馳せるのもまた一興。

議会広報特別委員会で、10月に行政視察へ行つてまいりました。先進地で学んだことを生かし、アップデートされた今後の議会だよりをお楽しみに。

(永田 千佳 記)

委員長 佐藤旭浩
副委員長 真野和久
委員 吉川三津子
山岡幹雄
竹村仁司
永田千佳